

☆地方創生推進交付金(①～⑤)

①「地域資源の活用と創業支援による交流人口倍増戦略推進事業」【H28～H30】 【事業概要】城下町エリアを核として活気あふれる北近畿の商都を創生する。		平成30年事業にかかるとするKPI(重要業績指標)							
		指標名		実施前値		目標値		実績値	
		観光消費額		2,008,500千円		2,062,500千円		2,326,573千円	
		中心市街地歩行者・自転車通行量		3,532人		9,532人		3,330人	
		テナントミックス事業開設店舗数		1店		6店		13店	
No.	事業名	事業内容	事業成果	担当課	歳出決算額 (円)	地方創生交 付金充当額 (円)	担当課に よる評価	有識者会議(5人構成)	
								主な意見	地域創生の効果
1	佐藤太清記念美術館特別展事業	著名な作家の作品展を行いギャラリートークを実施した。さらに、企画展として市展作品展や高校アート展等、身近な作家による展覧会を実施した。	魅力ある展示内容、ワークショップ等の市民参加型の体験会を実施することで、市民が文化芸術に触れる機会を創出できた。	文化・スポーツ振興課	1,786,489	880,676	B	【ありの意見】 ①年々入館者数が減少しており、美術そのものに興味を持ってもらう取り組みも必要ではないか。 ②大河ドラマ放映に伴う知名度を上げる機会を有効に活用すべき。 ③市民のニーズに合った特別展開催により入館者数増加が図れれば、より有効な取組みになるのではないかと。  【なしの意見】 ①3年間の入館者数の推移が低下しているため	あり 4 なし 1 不明 0
2	商店街等振興事業	商店街や商業者グループが行うイベント事業に対して補助金を交付する。1回の事業につき20万円を限度に補助。(補助率1/2以内)	豪雨による浸水被害の影響等により、例年より事業数は減少したものの、商店街等の活性化に取り組む事業を支援することにより、市内に賑わいを創出することができた。	産業観光課	403,000	201,500	C	①毎年定例化するのであれば、早くから実行委を立上げるとともに、市民の声も聴取すべき。 ②イベントに合わせた商店街の装飾(七夕、燈籠など)にも工夫を凝らし、家族連れも楽しめる創出の工夫を取り入れた取組みも検討しては。	あり 5 なし 0 不明 0
3	福知山城憩いの広場(ゆらのガーデン)管理事業	ゆらのガーデンの芝・植栽等の維持管理業務委託や日常的な清掃及び警備の業務委託、ガーデンの四季折々の草花の管理のためにガーデニングサークルに交付金を交付する。	官民協働で維持管理し、良好な四季の彩と和みの空間づくりに努め、市民や来街者が憩える場を提供することができた。	産業観光課	3,659,591	1,788,405	C	①一層の集客を図るため、関係する諸団体が担うべき役割を検証することを求める。	あり 5 なし 0 不明 0
4	地域資源の活用と創業支援による交流人口倍増戦略推進事業	商店街をベースに空き店舗等の利活用を提案することで飲食店やゲストハウス等を開設するとともに、広域的な地域資源の活用によりインバウンド観光等を盛り込んだ新たな観光面での受け皿を構築する。	物件所有者と利用希望者とのマッチングを行い、1店舗の新規出店に繋げた。また、委託事業として駅正面地区の夜間経済の振興に関する調査及び実証事業を行い、規制緩和や外観修景助成等の施策提案を行った。	産業観光課	6,000,000	2,999,000	B	①一定の成果があり、No5に活かせる取組みを共有するとより効果が出るのではないかと。	あり 5 なし 0 不明 0
5	中心市街地空き家・空き店舗等対策支援事業	中心市街地エリアの空き家・空き店舗等の情報及び利用希望者の登録を行うことで不動産の流動化及び有効活用を推進する。また、新規開業を行う際の改修費・備品購入費の支援や、国の補助金の採択を受けて実施するテナントミックス事業に対して支援を行う。	まちづくり株式会社に業務を委託することで、中心市街地の空き物件の細かな調査・聞き取りが進められ、空き店舗見学ツアーやDIYワークショップ等も開催し、更なる不動産の流動化が期待できる。H30年度は、空き店舗等対策事業補助金、テナントミックス推進事業補助金を活用した新規出店が4店舗あり、中心市街地の活性化に寄与した。	産業観光課	7,885,800	2,292,900	B	①No4での取組み効果を活かし、当該地区での取組みを検討する必要があるのではないかと。	あり 5 なし 0 不明 0
6	中心市街地誘客・回遊促進事業	商工業関係者・鉄道関係者・行政等で構成される実行委員会が実施する事業に対して補助金を交付する。	同日に複数の会場で11のイベントを実施し、一体的な広報に努めたことで、まちなかへの誘客、回遊性が高まり、全体として18,800人の集客があった。	産業観光課	1,000,000	500,000	B	①イベントに合わせた商店街の装飾(七夕、燈籠など)にも工夫を凝らし、家族連れも楽しめる創出の工夫を取り入れた取組みも検討しては。	あり 5 なし 0 不明 0
7	スイーツフェスティバル事業	「スイーツフェスティバル実行委員会」への補助金。	「スイーツフェスティバル実行委員会」が、市内外のスイーツ店を一同に集めたスイーツフェスティバルを開催し、スイーツを軸にした本市のPRと観光誘客促進が図れた。	産業観光課	1,000,000	500,000	B	【ありの意見】 ①知名度も広がっており、市外での取り組み推進を。  【なしの意見】 ①費用対効果が分かりにくい。ターゲットを絞って、より具体的な目標を絞るべき。	あり 4 なし 1 不明 0
小計					21,734,880	9,162,481			

A(非常に効果があった)  
B(相当程度効果があった)  
C(効果があった)  
D(効果がなかった)

②「京都府北部地域連携都市圏ステップアップ事業」【H28～R2】 【事業概要】京都府北部一つの経済・生活圏を形成し、中核市にも匹敵する産業・商業規模、観光拠点や交通機能等の都市機能を備える都市圏の実現に向けた取組を行う。		平成30年事業にかかるKPI(重要業績指標)							
		指標名		実施前値		目標値		実績値	
		観光消費額		2,008,500千円		2,062,500千円		2,326,573千円	
		空き家バンクを活用した移住世帯数		4世帯		5世帯		15世帯	
高等教育機関等卒業者の圏域内定着者数		22人		26人		26人			
No.	事業名	事業内容	事業成果	担当課	歳出決算額(円)	地方創生交付金充当額(円)	担当課による評価	有識者会議(5人構成)	
								主な意見	地域創生の効果
8	海の京都DMO事業	一般社団法人京都北部地域連携都市圏振興社(海の京都DMO)に対する自治体負担金	北北部全体で観光による集客力を底上げするための施策を展開。 【H30主要事業】 ・継続的データ収集・整備・分析・着地型旅行商品造成・インバウンド誘客・情報発信・プロモーション等	産業観光課	11,815,000	4,338,000	B	特になし	あり 5 なし 0 不明 0
9	SEA TO SUMMIT事業	京都府・福知山市・舞鶴市・綾部市の四者が負担金を拠出し事業を実施する。各市の特色を活かし、カヤック、バイク、バイクを実施 舞鶴(カヤック)⇒大江山グリーンロッジ(自転車)⇒大江山山頂(バイク)の実施	大会は台風の影響により中止としたが、参加申込者に対して参加費や観光パンフレットに加え、各市名産品を粗品として送付、また中丹各市の情報も提供したことにより、今後の来訪が期待される	文化・スポーツ振興課	570,058	285,029	C	①来年以降の未開催決定は仕方ないが3市間で利用客等からのヒアリング等があれば、掲載すべきと思う。 ②知名度アップ、宿泊者確保、移住・定住者増加にも繋がる事業であり次期でも継続を検討してよいのではないかと。	あり 5 なし 0 不明 0
10	ふるさと就職おうえん事業	北部7市町内事業所による合同企業面接会を京都市内で開催 日時:平成30年5月21日(月) 会場:京都市勤業館みやこめっせ(京都市左京区) 参加事業者数:136事業所(内、福知山市45事業所)	当日は求職者130名が参加し、その内19名(内、福知山市8名)の求職者が面接会参加事業所への就職につながった。	産業観光課	947,000	473,500	C	①受入先企業がしっかりとこの地に根付き育っているのか。 ②参加者数を増やすため、開催時期、周知広報の検討が必要。 ③小・中学校における「地元発見的な授業」開催により福知山の良さを幼少時から認識できるような取組みも必要ではないかと。	あり 5 なし 0 不明 0
11	移住・定住促進事業	圏域全体で民間活力を活かした移住定住を推進するため、各市町で個々に活動している団体(者)を掘り起こし、広域で連携し活動できるよう育成に向けた企画支援を行う。当該事業実施に必要なプログラム設計、拠点確保等においても事務局と調整し行う。	移住事業によって各市町のプレーヤーの掘り出しを行い、イベント等によりプレーヤー同士のつながりを深めた。これによる新たな展開として、団体(者)、民間事業者が主体となった移住者を呼び込むためのツアーのパッケージ化や、「働き方」をテーマにしたワークショップ等のイベント開催などが実施され、民間団体(者)による移住希望者の呼び込みと、「北部7市町」の旗印として、今後の活動への動機付けができた。	まちづくり推進課	3,196,000	1,598,000	C	①周辺地域への移住者を増やしてほしい。	あり 5 なし 0 不明 0
12	広域連携推進事業	総会、幹事会、各部会等を開催し、連携ビジョン等の策定、アクションプランの策定等を行う。また、連携ビジョンに従い、地方創生交付金を活用しながら各種事業を推進する。	京都府北部地域連携都市圏において、連携都市圏ビジョン(北の京都七つ星プロジェクト)を策定。また、行政サービスシームレス化として北部7市町間での図書館相互利用を平成30年4月より開始した。	経営戦略課	2,004,570	247,000	B	特になし	あり 5 なし 0 不明 0
13	福知山公立大学「知の拠点」推進事業	京都府北部地域連携都市圏等の地域連携事業費を支援し、地域協働・地域連携活動を推進した。	北近畿地域を舞台とする北近畿地域連携シンポジウム、地域創生セミナーなど様々な地域連携事業を通じて北近畿地域の行政機関、教育機関、企業、各種団体等とのネットワークを形成した。また、地域連携事業を通じて今後さらなる連携を図っていくことを目的に、京都府、京都府北部4市2町と包括協定を締結した。	大学政策課	10,000,000	5,000,000	A	①大学・学生と地域との協働化については高い評価をしたい。今後も一層の交流を願う。	あり 5 なし 0 不明 0
14	農商ビジネスフェア開催負担金(農業生産組織等指導強化事業)	与謝野町内で7市町圏域内での域内消費を目指した商談会を2回実施し、7市町の生産者と事業者とのマッチング、情報共有、専門家からのアドバイス等を行う。	農商ビジネスフェアを通じて、新たな取引先の獲得や、専門家によるアドバイスで新商品の開発等につながった。	産業観光課	118,000	59,000	C	①農業の6次化を念頭に、より具体的な戦略を練るべき。	あり 5 なし 0 不明 0
小計					28,650,628	12,000,529			

A(非常に効果があった)  
B(相当程度効果があった)  
C(効果があった)  
D(効果がなかった)

		平成30年事業にかかるKPI(重要業績指標)						
		指標名	実施前値		目標値	実績値		
		圏域内観光主要施設売り上げ額	1,021,350千円		1,100,000千円	1,212,271千円		
		移住支援制度を利用し転入した人の数	11人		20人	41人		
		人口社会増	-131人		-120人	-416人		
		企業支援制度を利用して起業した人の数	11人		20人	11人		
事業名	事業内容	事業成果	担当課	歳出決算額(円)	地方創生交付金充当額(円)	担当課による評価	有識者会議(5人構成)	
							主な意見	地域創生の効果
15	福知山公立大学「知の拠点」推進事業	兵庫朝来市・丹波市との地域連携事業費を支援し、地域協働・地域連携活動を推進した。また、新学部設置に係る外部有識者を含む委員会運営及びコンサル業務委託費を支援した。	大学政策課	21,200,000	10,600,000	A	①活動状況がしっかりと伝わってくる。今後、当地で根を張り地歩を築かれることを願う。	あり 5 なし 0 不明 0
16	福知山市伝統文化後継者育成事業	本市に伝承される伝統的な工芸・技術を文化としてまた地域産業として継承させるため、後継者育成に係る生産者及び伝承活動団体等の事業に対し支援を行う。	文化・スポーツ振興課	432,000	216,000	C	①本事業をより訴求するためには、「若手」を招致し、伝統文化に彩りが備わるような試みを検討してほしい。 ②田尻製舗所、白木屋(まな板)の後継者も必要。 ③伝統工芸品をPRし、事業そのものを周知する必要がある。	あり 5 なし 0 不明 0
17	観光地域づくりセンター設置運営事業	民間の専門的な視点やノウハウを有した戦略マネージャー及び地域づくり担当を外部委託し、地域関係者や事業者を交え伴走型により事業展開する。	産業観光課	12,777,224	6,372,999	C	①進捗状況を検証するために「歳時記」に合せた運営日程をつくり出すことが必須。 ②大江山地区の整備も進められていることから、バイク(自転車)愛好家などのインバウンドにも注目されるような取組みを検討してはどうか。このような観点からもNo9の取組みがあっても良いのではないかと。	あり 5 なし 0 不明 0
18	次世代交流ワークショップ事業	無作為抽出により募集した幅広い年代の市民と、高校生・大学生などがグループ討議により福知山のまちづくりに関する多様な議題について意見を交わす「ふくちやま次世代交流ワークショップ」を開催した。 また、市内の高等学校において「高校生フューチャーセッション」を開催し、地域で活躍する若者の話を聞き、地域の将来や自分の人生について語るワークショップを行った。	まちづくり推進課	376,247	188,123	C	①高校生等の若者や市民が「自分ごと」として参加している。このような「まちづくりの要諦」が拡大してほしい。	あり 5 なし 0 不明 0
19	福知山市産業支援事業	相談業務を中心とした支援を行う福知山産業支援センター「ドッコイセ! biz」においてあらゆる業種の事業所の相談に対応する。福知山産業支援センター「ドッコイセ! biz」の運営業務については、一般社団法人福知山産業支援機構へ業務委託をする。	産業観光課	23,894,989	11,642,757	B	①高校生が地域の問題解決、地元資源活用に資する新事業を検討することを目的とした『高校生ビジネスグランプリ』も活用いただければと考える。	あり 5 なし 0 不明 0
20	肉のまち福知山事業	牛や豚、鳥、ジビエなど様々な肉を提供する精肉店や焼肉店を集めた「ふくちやまMEET×MEATフェスティバル」を開催。	産業観光課	2,000,000	1,000,000	C	①店舗ごとのおすすめ等、マップの作成が必要。	あり 5 なし 0 不明 0
21	福知山産業フェア事業	企業・団体による製品の展示・技術PR・即売や農協・観光協会による地場産品・観光土産品販売、料理飲食業組合等による飲食グルメコーナー、各種イベント等が行われており、この大規模物産展の開催に対して補助金を支出する。	産業観光課	3,800,000	1,900,000	C	①今年度参加者から、企業間マッチングの場があっても良いのではないかとの声が聴かれた。	あり 5 なし 0 不明 0
22	福知山アーティスト・イン・レジデンス事業	京都Re:search実行委員会(事務局:京都府)を立ち上げ、地域アートマネージャー(中丹地域振興局)を中心に公募したアーティスト、文化協力員、地域住民と交流し、福知山市の風土や歴史等を調査し、そこでの発見を活かしたプロジェクトや作品プランの構想を立てた。	文化・スポーツ振興課	1,218,290	608,255	C	①次年度から京都府は事業に関わらないとのことだが、市が有する人材を駆使して可能な事業に育成して戴きたい。 ②事業としては良いが、PR不足。 ③商店街の賑わいも同様であるが、商店街のコンセプトを作り、そのコンセプトに応じた美術・芸術、装飾、店舗づくりを行うことを考えてみては。	あり 5 なし 0 不明 0
23	福知山PR戦略総合推進事業	①「知られざる明智光秀プロジェクト」クリス・ペブラーさん特別大使就任、明智光秀イメージ調査、福知山城記者会見、プロモーション動画作成等 ②「いかに！福知山」市民PRプロジェクト)市民PR講座、Instagramフォトキャンペーン等 ③その他、アサヒビール福知山城デザイン缶限定販売、竜王戦と絡めたプレスツアー、光秀シンポジウム、「福知山の治水とまちづくり」調査研究等	秘書広報課	20,995,567	3,852,000	B	①福知山市の来年の売りは「明智光秀」そのものであり、この好機を絶対に死守すべき。「滋賀・岐阜」を徹底的に調査してほしい。 ②一過性で終わらせないような工夫が必要。例えば、長野県上田市の駅から上田城までの商店街のように六文銭の旗を掲げるなど。	あり 5 なし 0 不明 0
小計				86,694,317	36,380,134			

A(非常に効果があった)  
B(相当程度効果があった)  
C(効果があった)  
D(効果がなかった)

④「今だけ、ここだけ、貴方だけ観光推進事業」【H28～R2】 【事業概要】地域資源を活用した広域観光に係るDMO事業及び連携事業を進める。			平成30年事業にかかるKPI(重要業績指標)						
			指標名		実施前値		目標値	実績値	
			観光消費額		2,008,500千円		2,062,500千円	2,326,573千円	
No.	事業名	事業内容	事業成果	担当課	歳出決算額 (円)	地方創生交付金充当額 (円)	担当課による評価	有識者会議(5人構成)	
								主な意見	地域創生の効果
24	「森の京都」DMO事業	一般社団法人森の京都地域振興社(森の京都DMO)に対する自治体負担金	エリア全体で観光による集客力を底上げするための施策を展開 【H30主要事業】 ・マーケティング調査(WEB調査・動向調査) ・旅行商品開発・販売 ・特産品開発・ブランド化・販売促進・人材育成 等	産業観光課	9,552,000	3,666,000	B	特になし	あり 5 なし 0 不明 0
小計					9,552,000	3,666,000			

⑤「北近畿の拠点“福知山”ネットワークを強化する道作り計画」【H28～R2】 【事業概要】市内の道路網を整備し、交通の利便性、地域間交流の促進、交流ネットワークの強化を図る。			平成30年事業にかかるKPI(重要業績指標)						
			指標名		実施前値		目標値	実績値	
			観光入込客数		792,139人		869,017人	927,086人	
森林整備施業面積		373ha		458.6ha	267.6ha				
No.	事業名	事業内容	事業成果	担当課	歳出決算額 (円)	地方創生交付金充当額 (円)	担当課による評価	有識者会議(5人構成)	
								主な意見	地域創生の効果
25	地域間交流促進ネットワーク事業(市道整備)	地域再生計画に基づき、市道広小路動使線、上荒河観音寺線、二瀬川大江山線、小倉線、土師新町24号線、天王線、下天津大呂線、岡ノ木線、笹場小野線、川北荒木線交差点について、道路改良等の事業を実施する。	優先度の高い路線整備を進めることで、自動車や観光バス等の通過の円滑化を図ることができ、観光入込客数が増加し、年度計画の達成に資することができた。	道路河川課	8,348,400	4,174,200	C	特になし	あり 5 なし 0 不明 0
26	地域間交流促進ネットワーク事業(林道整備)	地域再生計画に基づき通常の林道機能に加え、大江山線を観光道路として、額田大油子線を国道9号線の迂回路として整備する。	7月豪雨災害、台風24号災害により、施業予定箇所への林道が被災し施業できない箇所が多く目標達成に至っていない。早期に災害復旧を行い改善を図る。	農林業振興課	2,755,600	1,454,220	C	【ありの意見】 ①災害に因る運行は仕方がない。出来る限り早い施行開始を願う。 ②大江山トレッキングコースなどの整備は進んでいるが、登山口までの交通機関がなく、有効活用されていないのではないか。  【なしの意見】 ①アウトカム指標の達成が低いため。	あり 4 なし 1 不明 0
小計					11,104,000	5,628,420			
推進交付金合計					157,735,825	66,837,564			

### ☆地方創生拠点整備交付金(⑥)

⑥「北近畿『知』の拠点プラットフォーム事業、まちかどキャンパス事業」【H29～H30】 【事業概要】福知山公立大学が北近畿地域の住民、企業、各種団体等との連携・協働の活動拠点としての連携・協働の活動拠点として様々な機能を発揮するよう、大学の施設改修及びICT環境の充実強化に向けた取組を支援する。			平成30年事業にかかるKPI(重要業績指標)						
			指標名		実施前値		目標値	実績値	
			プラットフォーム施設利用者数		—人		30人	1,565人	
プロジェクトの新商品等の開発件数		—件		1件	5件				
府県を越えた自治体連携事業数		—件		1件	2件				
まちかどキャンパス利用者数		—人		30人	2,935人				
住民連携取組事例数		—件		1件	85件				
まちかどキャンパス事業を利用した新たな起業者数		—人		1人	1人				
No.	事業名	事業内容	事業成果	担当課	歳出決算額 (円)	地方創生交付金充当額 (円)	担当課による評価	有識者会議(5人構成)	
								主な意見	地域創生の効果
27	福知山公立大学「学びの拠点」推進事業(北近畿『知』の拠点プラットフォーム事業、まちかどキャンパス事業)	福知山公立大学が北近畿地域の住民、企業、各種団体等との連携・協働の活動拠点として様々な機能を発揮するよう、メディアセンター等の施設改修及びICT環境を整備。旧市街地の空き店舗を改修して、市民聴講を含む大学講義や市民講座等を実施するための「まちかどキャンパス」を整備する。	メディアセンター、まちかどキャンパスともに目標としている利用者(者)数を上回る実績が出ている。両施設とも、学生のみならず、一般の利用者も増えてきており、「地域に根ざし、地域住民に見える大学」としての役割を担っている。	大学政策課	84,500,000	42,250,000	A	①各地に新しい図書館が輩出しているが、それぞれ新規に導入した仕掛けが話題となっている。図書館は最早「書籍」を扱っている閉鎖的な施設ではなく、本を通じて人と人を繋ぎ合わせる「場」である。図書館の活用のアイデアを得てほしい。	あり 5 なし 0 不明 0
小計					84,500,000	42,250,000			
合計(推進交付金 + 拠点整備交付金)					242,235,825	109,087,564			

A(非常に効果があった)  
B(相当程度効果があった)  
C(効果があった)  
D(効果がなかった)